

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2018年11月13日

【事業年度】 第94期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

【会社名】 大同特殊鋼株式会社

【英訳名】 Daido Steel Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 石 黒 武

【本店の所在の場所】 名古屋市東区東桜一丁目1番10号

【電話番号】 052(963)7523

【事務連絡者氏名】 経理部長 丹 羽 哲 也

【最寄りの連絡場所】 東京都港区港南一丁目6番35号 東京本社

【電話番号】 03(5495)1253

【事務連絡者氏名】 東京総務室長 田 中 明

【縦覧に供する場所】 大同特殊鋼株式会社東京本社
(東京都港区港南一丁目6番35号)

大同特殊鋼株式会社大阪支店
(大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2018年6月27日に提出いたしました第94期（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 経営成績

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

3 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績

(訂正前)

(省略)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や中国での建産機需要の回復等を受け前期比で数量が増加しました。工具鋼は、在庫調整が終了したことから数量が増加しました。主要原材料である鉄屑の価格は、中国での鉄鋼製品価格の上昇等の影響を受け、前期比で上昇しました。これに伴い、販売価格は前期比で上昇しています。

これらの結果、当連結会計年度における特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の増加及び原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇から前期比14.6%増加の1,868億35百万円、営業利益は前期比6億64百万円増益の64億78百万円となりました。

(省略)

流通・サービス

特殊鋼鋼材や機能材料等の売上数量が増加し、取引規模が拡大したこと等により、当連結会計年度における売上高は、前期比35.2%増加の164億42百万円、営業利益については前期比11億2百万円増益の26億86百万円となりました。

生産、受注及び販売の実績は、次のとおりであります。

生産実績

当連結会計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(百万円)	前期比(%)
特殊鋼鋼材	189,443	+16.0
機能材料・磁性材料	169,601	+14.4
自動車部品・産業機械部品	105,824	+8.6
エンジニアリング	24,864	+4.0
合計	489,733	+13.1

- (注) 1 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(省略)

販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(百万円)	前期比(%)
特殊鋼鋼材	186,835	+14.6
機能材料・磁性材料	170,787	+15.0
自動車部品・産業機械部品	106,289	+9.0
エンジニアリング	24,864	+4.0
流通・サービス	16,442	+35.2
合計	505,219	+13.5

- (注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2 主な相手別の販売実績は、総販売実績に対する販売割合が100分の10以上の相手先がないため、記載を省略しております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(訂正後)

(省略)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車の販売好調や中国での建産機需要の回復等を受け前期比で数量が増加しました。工具鋼は、在庫調整が終了したことから数量が増加しました。主要原材料である鉄屑の価格は、中国での鉄鋼製品価格の上昇等の影響を受け、前期比で上昇しました。これに伴い、販売価格は前期比で上昇しています。

これらの結果、当連結会計年度における特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の増加及び原材料価格の上昇に伴う販売価格の上昇から前期比14.9%増加の1,890億95百万円、営業利益は前期比6億64百万円増益の64億78百万円となりました。

(省略)

流通・サービス

特殊鋼鋼材や機能材料等の売上数量が増加し、取引規模が拡大したこと等により、当連結会計年度における売上高は、前期比33.7%増加の141億82百万円、営業利益については前期比11億2百万円増益の26億86百万円となりました。

生産、受注及び販売の実績は、次のとおりであります。

生産実績

当連結会計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(百万円)	前期比(%)
特殊鋼鋼材	191,703	+16.3
機能材料・磁性材料	169,601	+14.4
自動車部品・産業機械部品	105,824	+8.6
エンジニアリング	24,864	+4.0
合計	491,993	+13.2

(注) 1 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(省略)

販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	金額(百万円)	前期比(%)
特殊鋼鋼材	189,095	+14.9
機能材料・磁性材料	170,787	+15.0
自動車部品・産業機械部品	106,289	+9.0
エンジニアリング	24,864	+4.0
流通・サービス	14,182	+33.7
合計	505,219	+13.5

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。

2 主な相手別の販売実績は、総販売実績に対する販売割合が100分の10以上の相手先がないため、記載を省略しております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

第5 【経理の状況】

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(訂正前)

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:百万円)

	特殊鋼 鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	連結財 務諸表 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	163,086	148,468	97,491	23,917	12,158	445,122	-	445,122
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,879	15,027	22,839	1,669	11,888	117,304	117,304	-
計	228,965	163,495	120,331	25,587	24,047	562,427	117,304	445,122
セグメント利益 又は損失()	5,813	17,416	516	1,218	1,583	25,515	2	25,513
セグメント資産	198,351	177,788	127,249	18,143	16,613	538,145	36,023	574,169
その他の項目								
減価償却費	7,642	7,667	6,598	288	1,079	23,275	-	23,275
持分法適用会社への 投資額	4,945	5,108	432	126	-	10,613	468	11,081
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	7,527	9,844	10,503	273	792	28,940	-	28,940

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産および持分法適用会社への投資額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。

2 セグメント利益又は損失()は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:百万円)

	特殊鋼 鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	連結財 務諸表 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	186,835	170,787	106,289	24,864	16,442	505,219	-	505,219
セグメント間の内部 売上高又は振替高	67,973	16,021	24,518	2,110	11,430	122,053	122,053	-
計	254,808	186,809	130,807	26,974	27,872	627,272	122,053	505,219
セグメント利益	6,478	22,195	3,070	1,835	2,686	36,266	48	36,218
セグメント資産	211,865	205,127	142,667	19,613	21,389	600,663	44,378	645,041
その他の項目								
減価償却費	7,237	6,306	5,564	270	1,361	20,740	-	20,740
持分法適用会社への 投資額	5,273	5,606	462	138	-	11,480	522	12,002
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	8,206	12,087	14,139	253	919	35,605	-	35,605

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント資産および持分法適用会社への投資額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- 2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:百万円)

	特殊鋼材	機能材料・磁性材料	自動車部品・産業機械部品	エンジニアリング	流通・サービス	合計	調整額(注1)	連結財務諸表計上額(注2)
売上高								
外部顧客への売上高	164,636	148,468	97,491	23,917	10,608	445,122	-	445,122
セグメント間の内部売上高又は振替高	64,329	15,027	22,839	1,669	11,888	115,754	115,754	-
計	228,965	163,495	120,331	25,587	22,497	560,877	115,754	445,122
セグメント利益又は損失()	5,813	17,416	516	1,218	1,583	25,515	2	25,513
セグメント資産	198,351	177,788	127,249	18,143	16,613	538,145	36,023	574,169
その他の項目								
減価償却費	7,642	7,667	6,598	288	1,079	23,275	-	23,275
持分法適用会社への投資額	4,945	5,108	432	126	-	10,613	468	11,081
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	7,527	9,844	10,503	273	792	28,940	-	28,940

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント資産および持分法適用会社への投資額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- 2 セグメント利益又は損失()は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:百万円)

	特殊鋼材	機能材料・磁性材料	自動車部品・産業機械部品	エンジニアリング	流通・サービス	合計	調整額(注1)	連結財務諸表計上額(注2)
売上高								
外部顧客への売上高	189,095	170,787	106,289	24,864	14,182	505,219	-	505,219
セグメント間の内部売上高又は振替高	65,712	16,021	24,518	2,110	11,430	119,793	119,793	-
計	254,808	186,809	130,807	26,974	25,612	625,012	119,793	505,219
セグメント利益	6,478	22,195	3,070	1,835	2,686	36,266	48	36,218
セグメント資産	211,865	205,127	142,667	19,613	21,389	600,663	44,378	645,041
その他の項目								
減価償却費	7,237	6,306	5,564	270	1,361	20,740	-	20,740
持分法適用会社への投資額	5,273	5,606	462	138	-	11,480	522	12,002
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	8,206	12,087	14,139	253	919	35,605	-	35,605

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント資産および持分法適用会社への投資額の調整額は、報告セグメントに配分していない全社資産であります。
- 2 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。